

渋谷大使のシンポジウム「高齢者とデジタル化」へのパネリスト参加

令和3年10月28日、渋谷大使はデサロジョ大学の招待により、高齢者に関する知識と研究（CIPEM）によるシンポジウム「高齢者とデジタル化」にパネリストとしてオンライン参加しました。

昨年の国連総会で日本とチリの提案により「健康な高齢化の10年」決議案が決議されました。またデジタル化は経済再生に不可欠であり、社会全体のデジタル化に向けた取組が重要になってきています。

渋谷大使からは、日本の高齢者のデジタル利用のサポートシステムや介護者のデジタル活用の促進、また高齢化が課題となっている農業分野での5G技術を活用した実証や介護等で活用可能なロボット等の紹介を行いました。

